

Mr. サトーのインド通信**インドの女性保護**

東部もそろそろ灼熱の夏が終わり雨期も間近なインド。私、サトーはまたこちらに来ております。日本では夏真っ盛りですが、こちらは最盛期をすぎ涼しくなってきました。雨の降った影響かここチェンナイでも30度前半しか気温上がっておりません。非常に快適です。(日本で1日中外にいてもそれほど暑いとは感じないので……。感覚がインド人化してきているのかもしれませんが……)

さて中国での主要石種の値上げラッシュを“フブ・服部の中国通信”でもお伝えしておりますが、ここインドでもルピー高、賃金上昇等で原石価格、製品価格が高騰しております。

グレー系の主要石種で有名なところでは、今後取引毎にその時のレートをもとに単価を計算するとまで言い出しているところもある始末です。石が悪くなっていっているのが最後にひと儲けしようという算段なのかもしれません。いつまで中国工場が頑張れるかは不明ですがそろそろ足元では厳しくなってきました。(詳しい情報は弊社担当まで)

まじめな話になりますが、本日はインドの女性保護について。昨今、世界でも大ニュースになったインドの女性に対する集団暴行事件。事実、インドでは女性に対する暴行事件が非常に多発しております。北部の方がニュースになっていますが、見えないところでタミルナド州やカルナタカ州といった南インドでも問題になっております。

これらの犯罪を食い止めるためか、犯行の重篤性を助長しているのかわかりませんが、インドには女性保護の法律があり、セクシャルハラスメント的なことをして訴えられれば取り調べ無しに牢屋行き。連帯責任の法もこの手の犯罪には適用されますので、一族郎党しょっ引かれます。こないだ聞いた話では、夫婦関係がうまくいかなかった離婚間近の夫が、合意もなく暴行されたと妻に訴えられ牢屋につながれたそうです。また、とあるビジネスマンがホテルで良くしてくれたフロントレディーの相談にのっているうちに端金を貸して、連絡の取れなくなったその女性に電話を3回ほどかけたら、それを証拠にストーカー行為で訴えられたという話もあります。

個人的にはこういう事例があるので犯行が重篤化しているのでは？という気がしないでもありませんが。また宗教的に厳しい戒律下であり、色々たまっているのだと思います。インドの友人に聞くとこれまた差別意識が高い発言も出てきて、女性の方も悪いという発言しか出てきませんが……私もお気をつけねばなりませんね……。皆さんもインドに来られた際には注意してください。

一・ サトー・ギャラリー 一

(in・チャイナ)



こないだインドから中国に送った原石に泥が多量についており、検疫局の人々に止められ、送り返せといわれました。最終的には泥を検査、洗浄というながれで落ち着きましたが・・・。
物々しい処理をされ、えらい目にあいました・・・、



えっ・・・
税関職員さん・・・

防護服着ている職員のいる横で
平気で泥を踏みつけて
写真撮ってるじゃないですか～

不思議な国です。